



合同企業説明会で自衛隊をPR

自衛隊東京地方協力本部（本部長 牧野陸将補）は11月14日、東京ビッグサイトで開催された「マイナビ仕事研究&インターンシップEXPO」に募集広報ブースを出展した。

これは就職活動前の大学生等に対して自衛隊を職業選択の1つとして認識してもらうため、自衛隊の概要、職域、活動内容等を説明するもので、部隊や基地見学を行う「オフィスツアー」についても案内した。当日は人数や時間に制限を設けて10回の説明会を実施したが、予想を上回る約400名がブースを訪れた。

参加者からは「自衛隊は厳しいと思っていましたが、後方職種やデスクワークがあることもわかりイメージが変わりました」「過去に防大を受験しましたが、今後自衛隊を諦めず目指します」など様々な声が聞かれ、「今後は自衛隊も選択肢の1つとしたい」「オフィスツアーに参加したい」「制服がかっこいい」といった感想も寄せられた。

東京地本は今後もコロナ禍での制約を克服し、就職フェアやオフィスツアー等を実施して、自衛隊への入隊・入校者を獲得すべく任務に邁進するとしている。



本部長がオンラインで講義

自衛隊東京地方協力本部長（牧野陸将補）は12月3日、東京大学法学部在籍の学生が主催する「官公庁等講演会」に参加した。

この講演会は例年、東京大学構内で実施しているが、今回は新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインでの開催となり、牧野本部長は市ヶ谷の本部庁舎から「幹部自衛官の仕事」と題して「国防を担う防衛省自衛隊とは」「幹部自衛官のキャリアパス・幹部自衛官の魅力」「幹部自衛官になるためには」等について自身の経歴や経験を踏まえて説明するとともに、現在自衛隊で勤務している東京大学の卒業生を紹介し、参加者は皆、興味深く聴講していた。

参加者からは「防衛大学校卒業者と一般大学卒業者の違いはあるのか」「経歴の中で海外勤務中、各国は自衛隊をどのように見ているのか、どのように感じたか」「キャリアパスの中で派遣先・留学の希望は叶うのか」などの質問があがるなど、学生の幹部自衛官への関心の高さがうかがわれた。

東京大学を担当する台東出張所では今後も対象者、学校関係者等と積極的に連携して各種イベントを実施し、自衛隊の任務の重要性を広報するとともに、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げるとしている。

